

公益社団法人郡山青年会議所
2017年度 事業報告

年間事業報告

月日	事業内容
1月4日	新年祈祷 / 場所：安積国造神社
1月4日	第1回 臨時理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月4日	郡山青年会議所OB会総会新年会 / 場所：ホテルハマツ 開成の間
1月4日	郡山商工会議所 「2017年新春賀詞交歓会」 / 場所：ホテルハマツ
1月5日	会津JC新年会 / 場所：会津若松ワシントンホテル
1月7日	第1回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月10日	会計監査 / 場所：事務局
1月12日	第13回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月12日	第13回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月13日	第1回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月17日	(公社)郡山青年会議所2017年度新年会 / 場所：郡山ビューホテル 4階 パラシオ
1月18日	第1回県南エリア会議 / 場所：白河
1月20日	京都会議 / 場所：京都国際会館
1月21日	京都会議 / 場所：京都国際会館
1月22日	京都会議 / 場所：京都国際会館
1月24日	もとみやJC新年会 / 場所：ネーブルシティもとみや aube
1月26日	いわきJC新年会 / 場所：いわきワシントンホテル椿山荘アゼリア
1月26日	二本松青年会議所新年会 / 場所：ウェディングパレス かねすい
1月27日	白河青年会議所新年会 / 場所：ホテルサンルート白河
1月28日	浪江青年会議所新年会 / 場所：ホテルプリシード郡山
1月31日	2017年度1月例会・定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 4階 花勝見
2月1日	だて青年会議所新年会 / 場所：セレビア スカイパレス
2月2日	第2回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月4日	新春の集い / 場所：ベルヴィ郡山館
2月4日	アカデミー委員会開校式 / 場所：郡山市 ベルヴィ郡山館
2月10日	須賀川青年会議所新年会 / 場所：須賀川市
2月11日	2017年度東北ゼミナール委員会開講式 / 場所：仙台市
2月14日	第2回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月15日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
2月15日	東白川青年会議所新年会 / 場所：棚倉町
2月16日	第2回県南エリア会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月17日	金沢会議 / 場所：金沢
2月18日	金沢会議 / 場所：金沢
2月19日	金沢会議 / 場所：金沢
2月21日	2月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
2月23日	公益社団法人 事業・会計立入検査 報告会 / 場所：郡山青年会議所事務局
2月25日	新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー / 場所：ホテル華の湯
2月26日	新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー / 場所：ホテル華の湯
3月1日	第3回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
3月11日	第6回福魂祭 / 場所：ビックパレットふくしま
3月14日	第3回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
3月15日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
3月16日	第3回県南エリア会議 / 場所：須賀川
3月23日	3月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
3月28日	公益法人勉強会 / 場所：郡山市中央公民館 第8、9講義室
3月30日	第4回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月5日	郡山市長選挙に伴う公開討論会 / 場所：郡山中央公民館 多目的ホール
4月13日	第4回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月15日	しゃくなげCUP2017 / 場所：白河国際カントリークラブ
4月19日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
4月19日	第4回県南エリア会議 / 場所：東白川
4月20日	4月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
4月21日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月23日	全国一斉！国民討議会 in 福島大会～憲法を変えるのはオレたちだ！～ / 場所：郡山市 労働福祉会館 2階中ホール
4月24日	チェリーパーティー / 場所：郡山ビューホテルアネックス

月日	事業内容
4月26日	「第56回久米賞・百合子賞」第1回実行委員会 / 場所：郡山市役所 本庁舎5階 教育委員会室
4月28日	第5回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
4月29日	第9回『大昭和祭り』 / 場所：白河市
5月3日	第19回公開憲法フォーラムインターネット中継 in 郡山会場 / 場所：郡山市中央公民館
5月5日	第52回郡山市こどもまつり / 場所：開成山公園
5月11日	第5回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
5月15日	第2回公益法人勉強会 / 場所：中央公民館 第6・7講義室
5月17日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
5月23日	第5回県南エリア会議 / 場所：いわき石川
5月24日	集え！NEXT GENERATION～共に生み出す大きなチカラ～ / 場所：郡山ビューホテル アネックス 4階 花勝負
5月25日	5月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
5月26日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月1日	第6回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月4日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 / 場所：郡山西口駅前広場
6月4日	第20回わんぱく相撲こおりやま場所 / 場所：郡山相撲場
6月5日	第56回「久米賞・百合子賞」審査員顔合せ会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス6階 舟津
6月8日	ASPAC / 場所：ウランバートル/モンゴル
6月9日	ASPAC / 場所：ウランバートル/モンゴル
6月10日	ASPAC / 場所：ウランバートル/モンゴル
6月11日	ASPAC / 場所：ウランバートル/モンゴル
6月13日	第1回08元気会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
6月15日	第6回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
6月18日	第20回わんぱく相撲福島ブロック場所 / 場所：会津若松市立第六中学校
6月19日	第6回県南エリア会議 / 場所：田村
6月21日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
6月22日	6月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
6月27日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月2日	こおりやまJCオールスター感謝祭～星に願いを込めて～開催 / 場所：磐梯熱海スポーツパーク 四季の里緑水苑
7月3日	第7回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月8日	第47回福島ブロック大会 in だて オープニングセレモニー / 場所：伊達市ふるさと会館 MDDホール
7月9日	アカデミー委員会発表会 / 場所：伊達市保原市民センター
7月9日	ブロック大会メインフォーラム / 場所：伊達市保原市民センター
7月9日	ブロック大会記念式典 / 場所：伊達市保原市民センター
7月10日	中間監査 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月13日	第2回 こおりやま みらい☆シティ 企業事前説明会 / 場所：ニコニコ子ども館 研修室
7月14日	第7回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月15日	私たちの郷土、郡山の文学～久米正雄・宮本百合子の足跡～ / 場所：郡山市
7月16日	スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～事前説明会 / 場所：郡山市労働福祉会館
7月20日	7月例会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
7月21日	サマーコンファレンス2017 / 場所：横浜市
7月22日	サマーコンファレンス2017 / 場所：横浜市
7月23日	サマーコンファレンス2017 / 場所：横浜市
7月24日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月25日	第1回 異業種交流会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3F 雲水峰
7月28日	第8回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
7月29日	わんぱく相撲全国大会 / 場所：両国国技館
7月30日	わんぱく相撲全国大会 / 場所：両国国技館
8月4日	第53回郡山うねめまつり 葛城王 郡山青年会議所理事長 橋本 裕 / 場所：郡山駅前大通り
8月5日	奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し / 場所：郡山駅前大通り
8月8日	スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～ / 場所：国立磐梯青少年交流の家（台風のため中止）
8月9日	スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～ / 場所：国立磐梯青少年交流の家（台風のため中止）
8月10日	第8回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
8月11日	日の丸チャリティラン / 場所：開成山公園
8月18日	第7回県南エリア会議 / 場所：日専連郡山ビル 3F 会議室
8月23日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
8月24日	8月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂

月日	事業内容
8月30日	第9回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月1日	東北青年フォーラム ウェルカムナイト / 場所：水沢グランドホテル
9月2日	東北青年フォーラム オープニングセレモニー / 場所：奥州市文化会館
9月2日	東北青年フォーラム メインフォーラム / 場所：奥州市文化会館
9月3日	東北青年フォーラム ゼミナール閉校式 / 場所：奥州市文化会館
9月3日	東北青年フォーラム クロージングセレモニー / 場所：奥州市文化会館
9月6日	第56回「久米賞・百合子賞」審査勉強会 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月7日	講演会並びに第2回異業種交流会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス4階花勝見
9月11日	財政審査会議 / 場所：事務局
9月13日	第9回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月18日	こおりやまユニバーサルフェスティバル2017 / 場所：郡山カルチャーパーク
9月20日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
9月23日	第2回 こおりやま みらい☆シティ / 場所：開成山公園
9月24日	第2回 こおりやま みらい☆シティ / 場所：開成山公園
9月25日	9月例会・定時総会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3階 雲水峰
9月26日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
9月27日	第8回県南エリア会議 / 場所：白河市
9月28日	第66回全国大会埼玉中央大会 / 場所：埼玉中央
9月29日	第66回全国大会埼玉中央大会 / 場所：埼玉中央
9月30日	第66回全国大会埼玉中央大会 / 場所：さいたまスーパーアリーナ（メインアリーナ）
10月1日	第66回全国大会埼玉中央大会 / 場所：埼玉中央
10月3日	第10回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
10月4日	奈良公式訪問 / 場所：奈良市
10月5日	奈良公式訪問 / 場所：奈良市
10月11日	資質向上セミナー / 場所：ホテルハマツ2階白鳳
10月13日	第10回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
10月15日	市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 / 場所：郡山西口駅前広場
10月17日	08元気会 / 場所：郡山ビューホテル4Fバラシオ
10月17日	第48回衆議院議員選挙福島2区ネット討論会 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
10月18日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
10月19日	会員拡大セミナー / 場所：ミューカルがくと館 大ホール
10月20日	第56回「久米賞・百合子賞」最終審査会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス 3階
10月24日	10月例会 / 場所：郡山市労働福祉会館 3階大ホール
10月25日	「第2回こおりやま みらい☆シティ」参加団体 大懇親会 / 場所：ビューホテルアネックス SPOON
10月25日	財政審査会議 / 場所：（公社）郡山青年会議所事務局
10月31日	第56回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会 / 場所：郡山市役所 本庁舎5階 教育委員会室
11月1日	第11回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
11月2日	法人格維持セミナー / 場所：ミューカルがくと館 中ホール
11月4日	第9回県南エリア会議 / 場所：須賀川市
11月6日	世界会議 / 場所：アムステルダム／オランダ
11月7日	世界会議 / 場所：アムステルダム／オランダ
11月8日	世界会議 / 場所：アムステルダム／オランダ
11月9日	世界会議 / 場所：アムステルダム／オランダ
11月10日	世界会議 / 場所：アムステルダム／オランダ
11月14日	第11回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
11月15日	PEP Kids Koriyama支援協力 / 場所：PEP Kids Koriyama
11月18日	第56回「久米賞・百合子賞」授賞式並びに講演会 講師：齋藤貢氏 / 場所：郡山女子大 建学記念講堂
11月21日	講演会並びに第3回異業種交流会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス4階花勝見
11月24日	11月例会 / 場所：郡山市郡山公会堂
11月25日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
11月25日	第9回会員会議所会議 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
11月26日	アカデミー委員会閉校式 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
11月26日	福島ブロック事業報告会 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
11月26日	福島ブロック卒業式 / 場所：郡山ビューホテルアネックス
11月27日	じゃがいもクラブゴルフコンペ / 場所：宇津峰カントリークラブ
12月1日	第12回 常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局

月日	事業内容
12月2日	東北地区協議会2017年度第2回会員会議所会議 / 場所：エルティ（福島）
12月2日	東北地区協議会2017年度卒業証書授与式 / 場所：エルティ（福島）
12月9日	12月臨時総会 / 場所：郡山ビューホテル 5階
12月9日	卒業式 / 場所：郡山ビューホテル
12月9日	送別会 / 場所：郡山ビューホテル
12月12日	第56回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会 / 場所：郡山市役所 本庁舎 5階 教育委員会室
12月14日	第12回 理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
12月19日	12月例会 / 場所：郡山ビューホテル 5F プリエール
12月27日	財政審査会議 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月10日	事業監査
1月11日	第13回常任理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局
1月11日	第13回理事会 / 場所：郡山青年会議所事務局

2017年度 総務委員会

委員長 柳沼 勝恵
副委員長 石津 幸司 佐藤 嘉洋 石川 恭世
★委員会スローガン

一樹百穫

★事業方針

郡山青年会議所は創立から57年という長い歴史の中で、ひとづくりやまちづくりを通し、こおりやまの明るい豊かな社会の実現に向け歩みを進めてきた。その歴史の中で多くのメンバーが惜しまれながら卒業し、活動するメンバーが変わっていく中、現在では現役メンバーの約半数が入会3年未満となっている。そのため、経験の浅いメンバーが理事を務めることも多くなり、新入会員へ経験や知識を継承していくことがより重要となった。

総務委員会は、年齢も職業も違うなか、時を同じく入会した青年たちが1年間、先輩方が築いてこられた歴史と伝統を継承し、様々な事業の中で常に運動の基盤として活動することで、これからの郡山青年会議所を創り上げる人財を育成する重要な委員会である。新入会員は例会の設営や各種事業、遠征へ積極的に参加することで、その事業の背景や目的、手法をしっかりと理解し、時に同じ修練を経験することで、同志との友情を育む。また姉妹JC締結から40年以上にわたり友情を育んでいる奈良青年会議所との交流や、これまでの郡山青年会議所を創り上げてこられたOBの先輩方との交流を通し、郡山青年会議所の歴史と伝統を学び、そして更なる絆を結ぶ。新入会員に学びを与える立場にあるスタッフは、青年会議所運動・活動の意義、本質をしっかりと新入会員に対し理解させ事業に参加するとともに、常に良き手本となるよう行動し、自らも成長していく。

運動の基盤となる総務委員会のメンバーが、自らの使命を理解し率先して行動することでLOM全体の潤滑油となり、LOMメンバー一人ひとりが個々の力を最大限に発揮できるようになる。そうすることで全ての運動が円滑に動き、事業の目的が達成され、こおりやまの明るい豊かな社会の実現と、これからの郡山青年会議所のさらなる発展へとつながる。

★事業計画

	[開催予定月]
1. 新入会員の教育・指導	[通年]
2. 例会の設営	[通年]
3. 新年会の設営	[1月]
4. 定時総会の設営	[1月・9月]
5. 会員親睦事業の企画運営	[6月]
6. 福島ブロック大会 in だて参加引率	[7月]
7. うねめまつり参加引率	[8月]
8. 奈良公式訪問	[9月]
9. 卒業式の企画運営	[12月]
10. 文書発送作業	[毎月15日]
11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務	
12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成	
13. 会員拡大に関する情報収集	[通年]
14. その他理事長所信に基づき行なう事業	

1. 新入会員の教育・指導

当初新入会員6名でのスタートとなり、2月より3名加わり9名の新入会員での活動となった。様々な事業を通してJCの基礎を学び、一年間をかけて大きく成長することができた。また総務委員会が企画運営する事業においては全員が積極的に関わり、新入会員の絆もより深いものになった。

2. 例会の設営

① 1月例会

2017年度1回目の例会設営ということでスタッフ、新入会員共に総務委員会全体が良い緊張感のなか、例会を進めることができた。

橋本理事長より「継承と挑戦～一人ひとりの自覚ある行動が新たなこおりやまの扉をひらく～」のスローガンのもと、2017年度にかけの想いについてご挨拶いただいた。また会務報告では各委員長より委員会スローガンや委員長の想いが述べられ、会員全体の意識の共有が図られた。

設営の部分ではセレモニーでの元気の無さが目立ち、今後の課題が見つかる貴重な例会となった。

② 2月例会

1月例会とは違い新入会員が設営、セレモニーをメインで担当し、良い緊張感をもって設営することができた。また単独での例会開催となり会務報告や出向者報告の時間を例年より多く設けたこともあり、時間の配分等に不安があったが、皆様のご協力もありほぼ計画通りに進めることができた。

③ 3月例会

3回目の例会設営ということで新入会員はじめスタッフも自分の役割をしっかりと理解し率先して設営を行うことができた。またメンバーのお出迎えやセレモニーなど、行うことで活気ある例会とすることができた。

④ 4月例会

4月例会は例会及び臨時総会の同時開催となった。例会部分に関しては後に控えた総会のため非常にタイトなタイムスケジュールとなったが、登壇した全てのメンバーの皆様にご協力をいただき、ほぼオンタイムで総会に移ることができた。また普段と違った設営を通して新入会員にとって、とてもよい緊張感を持ち設営に臨むことができた。

⑤ 5月例会

5月例会では5回目の例会設営ということもあり新入会員も自分の役割を理解し設営、リハーサルを行い、スムーズに準備を行うことができた。しかし、出席率の部分で多くのメンバーに出席していただくことができず、総務委員会としても課題のこの結果となった。より多くのメンバーに参加していただけるよう委員会内でしっかりと検証していくことが重要であると再認識する例会となった。

⑥ 6月例会

6月例会から会務報告の部分で委員長とあわせて委員会メンバーにも登壇していただき、会務報告をしていただく設えとした。登壇の機会があまりないメンバーにとっては非常によい機会となった。

⑦ 7月例会

7月例会では次年度理事長への当選証書授与が行われる特別な例会となった。新入会員にも事前に非常に意味のある重要な例会ということをお伝え、また、会場もいつもと違った会場となり、現調から当日のリハーサル、設営とよい緊張感をもって臨むことができた。7月ということで1年の折り返しの中で、いつもと違った雰囲気の中例会の設営を行うことができ、総務委員会としても非常によい経験となった。

⑧ 8月例会

8回目の例会設営ということで準備物の搬入から設営、撤収までスムーズにおこなうことができた。また前回例会はホテルにて開催となったため1ヶ月空いての公会堂での開催となり音響などの機材の調整などもふくめ、しっかりとリハーサルを行い本番に臨むことができた。設営の部分で慣れや油断からミスにつながらないように、定期的に別会場での開催があると改めて新鮮な気持ちとなり気を引き締められると感じた。

⑨ 9月例会

9は月例会定時総会との同時開催となり、多くのメンバーの皆様にもご協力いただく例会となった。当日のリハーサルでは次年度も含め、多くの皆様に参加していただいたが、総務委員会の準備不足から慌しく感じられる部分が見られた。大きなトラブル等は無かったが、当日の流れを多くのメンバーの皆様にご理解していただくことの難しさを痛感する例会設営となった。

⑩ 10月例会

会場の都合上、労働福祉会館での開催となり例会会場としては今年度初めての会場となった。音響や空調などの事前調査、当日のリハーサルなど事前準備の重要性を改めて実感することができた。設営上のトラブルや大きな問題等はなかったが、会場が変わっても臨機応変にしっかりと対応できるよう事前準備の重要性を改めて実感するよい機会となった。

⑪ 11月例会

11月例会では2ヶ月ぶりの公会堂での例会となり、改めて音響やプロジェクターなどの設備面での事前準備をしっかりと行い本番でミスがないよう進めることができた。また、例会開始前に別事業が行われていたため、委員長として事前のリハーサル等を確認することが出来なかったが副委員長、リーダーを中心に進めていただき、大きなトラブル等なく終えることができた。

⑫ 12月例会

3. 新年会の設営

新年会では多くのご来賓、来訪JC、OBの先輩方にご出席いただき、2017年度橋本裕理事長体制を対外へ広く発信できた。設営の部分では細かな不備やアクシデント等あり総務委員会としては反省点の残る結果となってしまったが、メンバーの皆さまのご協力と臨機応変な対応のお陰で大きな問題となることなく盛会に開催することができた。

4. 定時総会の設営

① 1月定時総会

議長に森尾興史君、副議長に滝田悠紀三君を選任しての総会となり、スムーズな進行のもと、2016年度事業報告、二次補正予算、決算報告と2016年度の事業の締めとなる重要な議案が全員賛成で審議可決いただくことができた。資料については、総務委員会としてしっかり確認したつもりではあったが、細部にミスがみられ今後に課題の残る結果となった。

② 4月臨時総会

議長に有我副理事長、副議長に大槻副理事長を選任しての総会となり、スムーズな議事進行のもと議案の審議可決をいただくことができた。設営の部分では前回の1月定時総会での反省点をいかし委員会での事前準備や会場ドンデンのリハーサルなどを入念に行い大きな問題が生じることなく終えることができた。

③ 9月定時総会

本年度の補正予算、次年度の役員、監事の選任という非常に重要な議案をOB会長が見守る中審議可決され、非常に良い緊張感を持ち設営に臨むことができた。新入会員にとっても毎月同じ例会設営に慣れがでてきた部分もあったので、設営の上での緊張感を取り戻すよい機会にもなった。

④ 12月臨時総会

当日は卒業式、送別会との同時開催ということで、非常にタイトなスケジュールの中総会が行われた。OB会会長をはじめ、OBの先輩にもご臨席賜り、よい緊張感の中、設営に臨むことができた。今年度最後の総会設営ではあったが、反省すべき点も多々見られたため、しっかりと検証する必要があると感じた。

5. 会員親睦事業の企画運営

『こおりやまJCオールスター感謝祭～星に願いを込めて～』の事業名のもと会員のご家族も含めた会員親睦事業を企画運営した。日頃JC運動に対して最大限の理解を示してくれる家族に対し、感謝の気持ちを伝え、これからのJC運動につなげることを目的に企画し、多くのメンバー及び家族に参加していただくことができた。二部構成とし運動会と懇親会という設えにしたが、両設え共に新入会員が中心に企画し、皆様に怪我無く楽しんでいただくことができた。

6. 福島ブロック大会 in だて参加引率

「一期一会の覚悟～福島未来を変えるのは俺たちだ～」のスローガンのもと2日間にわたり開催された福島ブロック大会への参加引率を通し、多くの気づきと学びを得ることができた。また成田英樹ブロック会長をはじめとする多くの福島ブロック出向者の皆様の活躍する姿を直接見ることで出向していない現役会員にとってもとても良い刺激となった。引率としては各会場が分散する中で参加いただいたメンバーの皆様にはご足労をおかけするかたちとなったが、皆様のご協力のおかげで大きなトラブル等なく終えることができた。

7. うねめまつり参加引率

新入会員が中心となり総務委員会一丸となって奈良青年会議所の皆様をおもてなしすることができた。企画の部分から最後まで新入会員が中心となり進めることで、奈良青年会議所との友情を深めるだけでなく、総務委員会としての成長にもつながった。スタッフとして見守る中、この事業をきっかけに新入会員同士の絆がさらに深いものになり、卒業式に向けよいステップアップになったと実感する事業となった。

8. 奈良公式訪問

奈良公式訪問では奈良青年会議所の皆様からの心温まるおもてなしをいただき、改めて姉妹JCとしての絆を実感することができた。またエクスカーションや采女祭りでは奈良の歴史や文化にふれることで、とても有意義な時間を過ごすことができた。総務委員会としても新入会員をふくめ、10人で奈良の地を訪問することができ、おもてなしや、奈良特有の歴史や文化にふれることで、多くの気づきや学びを得ることができた。

9. 卒業式の企画運営

今年度卒業式は、15名の御卒業生のこれまでのJC活動に対し感謝と尊敬の気持ちをもって企画、設営に取り組んだ。また、今年度の工夫として12月例会と日にちをわけること、時間を有効に活用する設えとし、御卒業生の多大なるご協力があり、一日を通しタイムスケジュールに沿った流れで進めることができた。また設営のうえでは、PCの不調によるトラブルなどもあり、膨大なデータ量となる卒業式だからこそ、データの形式や保存方法、出力方法などを数パターン用意するなど、次年度へしっかりと引き継いでいかなければいけないと実感した。

10. 文書発送作業

毎月15日を基本とし、OB会会員、現役会員に事業案内等の文書、広報誌を発送した。

11. 常任理事会、理事会等諸会議の設営と運営、その他庶務に関する業務

毎月開催された常任理事会理事会の設営、議事録の作成を行った。

12. 総会資料、会員名簿・名刺の作成

定時総会、臨時総会、会員面簿、名刺の作成を行った。

13. 会員拡大に関する情報収集

新たな情報を持っている新入会員を中心に候補者の情報収集や声かけなど積極的に行った。

14. その他理事長所信に基づき行なう事業

新入会員は毎月の例会設営や各種会議、セクレタリー、そして様々な事業を通し郡山青年会議所としての運動の基本を学び、これからの郡山青年会議所を担う人材へと成長した。教育する立場にあるスタッフも新入会員に対し常に良き手本となるよう後姿を見せ続け、共に成長することができた。

一樹百穫のスローガンのもと一年を通し活動し、新入会員全員が一人も欠けることなく最後まで走り抜けることができた。新入会員だけでなく、総務委員会メンバー全員がこの経験を次年度以降にしっかりと活かし、今年つけた実をさらに大きな実にしていただけるものと確信している。最後にこのような素晴らしい機会をいただいた橋本理事長、そして総務委員会を見守り、事業にご協力くださった皆様全員に感謝申し上げ一年間の報告とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

2017年度 会員開発委員会

委員長 石田 慶幸

副委員長 石本 純也

★委員会スローガン

一味同心

★事業方針

郡山青年会議所はこのまちの明るい豊かな社会の実現のために活動し運動を56年もの間展開し続けてきた。このまちに我々の運動が浸透し、市民の理解を得てきたことは先輩諸兄から受継がれてきた伝統や歴史を新しい世代の会員へ繋げ続けてきた一人ひとりの責任と自覚の現れである。また、近年入会会員の半数の経験年数が3年未満と少なく経験を補うための資質の向上が急務とされている。我々現役会員は、この伝統と歴史を継承し続けるために会員を拡大し、経験を積み重ね資質の向上が必要である。

まず委員会として、青年会議所発足から継続されている会員拡大を委員会だけのものにする事なく郡山青年会議所全ての会員が当事者意識を持てるように会員一人ひとりへ情報の共有を図りLOMの発信者となることのできる様にこれまでの手法を年当初に検証し、新しい手法を作りそれを用いることで会員拡大へ繋げる。また、OB会会員と交流を図り先輩諸兄が築き上げてきた郡山青年会議所の歴史と伝統を学ぶ機会を設ける。さらに、郡山青年会議所に入会し自らの人間力の向上や会員としての資質向上のために経営に関する事業を展開し現役会員の人間力の向上と資質向上を図る。

それにより様々な歴史と伝統、経験と知識を得た我々が郡山青年会議所の魅力を発信し、それを受けた次世代を担う新しい同志を拡大し、郡山青年会議所の成長に繋げ今後の活動と運動の礎を創り上げる。そして、このまちの明るい豊かな社会を実現する。

★事業計画

		〔開催予定月〕
1.	新入会員オリエンテーション及び会員セミナーの実施 会員開発委員会・広報渉外委員会合同	〔 2月〕
2.	チェリーパーティーの企画運営	〔 4月〕
3.	第1回異業種交流会の企画運営	〔 7月〕
4.	講演会並びに第2回異業種交流会の企画運営	〔 9月〕
5.	全国大会への引率	〔 9月〕
6.	資質向上セミナーの企画運営	〔 10月〕

7.	講演会並びに第3回異業種交流会の企画運営	[11月]
8.	OB会会員との交流	[通年]
9.	会員拡大及び会員拡大の取りまとめ	[通年]
10.	その他理事長所信に基づき行なう事業	[通年]

★事業報告

1. 新入会員オリエンテーション及び会員セミナーの実施（会員開発委員会・広報渉外委員会合同）

人間力開発セミナーでは伊藤清郷先輩（陸奥テックコンサルタント(株)代表取締役、郡山商工会議所副会頭、JCOB会会員）からJCの魅力と可能性について学び、能力開発セミナーでは加瀬元三郎先輩（福島建機(株)代表取締役 JCOB会会員）から人と人との関わり方の重要性について学ぶことができた。また、青春の居酒屋では初の試みとして、歴代ブロック会長と歴代運営専務をお招きした。今年度ブロック会長輩出 LOM としての支援や過去のブロックのお話を聞くことができた。全体をとおして新入会員や現役会員にとっても貴重な経験ができた本事業であった。新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーを通じて新入会員は青年会議所の歴史や伝統、活動意義を学び、現役会員においては活動意義を再認識し新入会員と交流することにより初心を思い出していただけた。

2. チェリーパーティーの企画運営

OB会会員と現役会員が交流する事業として多くの方に参加いただき盛大に開催することができた。また、昨年開催された創立55周年記念式典・祝賀会の映像を全員で観覧し、食事をしながら楽しく振り返ることができた。OB会会員の皆様から今後のJC運動について様々なお話をいただくことができ、有意義なチェリーパーティーとなった。また、会場に桜の花の設えをはじめ、桜にちなんだ料理などチェリーパーティーの名に相応しい設えをすることができた。ご参加いただいた現役会員の皆様に感謝申し上げます。

3. 第1回異業種交流会の企画運営

第1回異業種交流会に多くの現役会員にご参加いただき感謝申し上げます。今回異業種交流会の単独開催という初めての試みでしたが、とてもにぎやかに活発な交流の場を持つことができた。また郡山青年会議所の活動なども会場に掲示させていただき少しでも活動を知っていただける機会になった。郡山青年会議所の現役会員との会話の1つ1つが新入会員候補者の方々にとっても何かしらの刺激になったと思う。やはり異業種交流会を単独で行うよりは、何らかの事業や講演会などのあとに開催する方が参加しやすい環境づくりだと思う。

4. 講演会並びに第2回異業種交流会の企画運営

講演会では、二瓶健一先輩（ソニー生命保険(株)部長兼営業所長、KPC福島の未来を考える青年団体協議会会長、JCOB会会員）を講師にお招きして講演会を開催し、まちづくりとは、リーダーシップと

は、青年会議所とは、の3つのコンテンツを中心にお話しいただいた。その3つのコンテンツをもとに新入会員候補者と共にグループワークをおこない、3つのコンテンツについて議論を深め発表をおこなっていただき、大変有意義な時間を過ごす事ができた。異業種交流会では、1回目同様に現役会員に積極的に動いていただいたおかげで大変盛り上がり、実り多い交流会だった。また、新入会員候補者からは、現役会員との会話の一つ一つから志の高さを感じたなど前向きな感想を多くいただき、新入会員候補者の方々にとっても良い刺激になった。

5. 全国大会引率

今年度はさいたまの地で行われた大会に、多くの現役会員にご参加いただいた。またご卒業生は15名中14名もご参加いただいた。ご卒業生にとって思い出に残る、そして他メンバーにとっても楽しみながらも学びのある設営を心掛けていたが、細かな不備やご迷惑をお掛けした点等があり深く反省する。スケジュールや移動に大きな問題もなくスムーズに引率を行えたのも皆様のおかげであり、何より大宮の歴史と文化、そして「運命共同体」で盛り上げる大会の雰囲気も存分に感じていただけたと思う。また閉会式と解団式にも参加することで大会設営側の雰囲気を感じることができたと思う。

6. 資質向上セミナーの企画運営

会員資質向上セミナーでは、講師に原正夫先輩(株)原商店取締役会長、前郡山市長、JCOB)をお招きし市長在任期間にどのようなまちづくりをしたか、どのようなまちづくりを考えていらしたかを中心にお話しいただいた。市議会議員・県議会議員そして市長となるにあたり郡山青年会議所のメンバーに強く背中をおされたからこそ出来たと言われておりました。市長在任期間に震災が起き毎日不眠不休で頑張れたのは、健康な体があったからと健康の大事さを教えていただきました。今後また災害が起こった時にどのような対応が求められるか、どのような勉強をすべきかを教えていただき大変有意義なセミナーだった。

7. 11月講演会並びに第3回異業種交流会の企画運営

講演会では、伊藤清郷先輩(陸奥テックコンサルタント(株)代表取締役、郡山商工会議所副会頭、JC OB会会員)を講師に「明るい郡山の未来へ！」を題目にお話しいただき、『人に支えられたければ、人を支える。信頼されたければ、人を信頼する。』という格言をお話されておりました。また私たちに伝えたい3つのこととしまして、1つ目には徹底したプラス思考、2つ目は失敗を恐れず挑戦すること、3つ目は素直と教えていただいた。明るい郡山の未来のために！に向けて、たくさんのアイデアをいただき、これからのまちづくりにも生かせるヒントをいただいた。

異業種交流会では、1・2回目同様に現役会員に積極的に動いていただいたお陰で大変盛り上がり、実り多い交流会だった。新入会員候補者の皆様が笑顔で帰って行かれるのを見て大変うれしく思った。設営面では、皆様のご協力のお陰で大きなトラブルなく終える事ができ、感謝申し上げる。

8. OB会会員との交流会

第1回OB元気会では、郡山商工会議所の今泉守顕副会頭の再任、伊藤清郷副会頭・福内浩明専務理事の就任祝いを行い今後の抱負などを聞く事ができた。また力丸美彦OB会会長と高橋金一OB会直前会長へのサプライズ還暦祝いを行い、両名からご挨拶をいただいた。第2回OB元気会では、アトラクションとして行ったビンゴ大会では、皆様にご協力いただき和やかな雰囲気の中、会をすすめることが出来た。多くのOB会会員の先輩方と交流することにより、会員拡大や今後の事業に関するアドバイスをいただけた。多くの現役会員にご参加いただき感謝申し上げます。

9. 会員拡大及び会員拡大の取りまとめ

3回開催した異業種交流会を活用し、現役会員より紹介いただいた新入会員候補者やOB会会員の先輩方からの情報をもとに再度新入会員候補者をリスト化した。その結果100名あまりの新しい新入会員候補者の情報収集を得ることができた。現役会員の皆様には感謝申し上げます。異業種交流会開催の後に時間をおかずに連絡や面談を行うべきだったが、委員会内で情報共有することができずに新入会員拡大目標数までは届かなかった。また、会員拡大マニュアルを作成したがマニュアルに沿った会員拡大を進めることができなかった。会員拡大においては、現役会員全員で取り組むためにも情報共有や会員拡大の意識を高めることの重要性をもっと早く気付くべきだった。、OB会会員の先輩方への協力依頼においても改めて重要であることを実感した。

10. その他理事長所信に基づき行なう事業

会員開発委員会のメイン事業でもある会員拡大においては、本年度は会員拡大目標を26名とさせていただいた。今年度卒業生が15名という中で、18名の会員拡大をすることができた。現役会員の皆様には感謝申し上げます。本年度は、新入会員候補者リストに新しい情報を増やすことを目標とさせていただき、異業種交流会を3回開催させていただいた。その結果新しい候補者情報を100件あまり増やす事ができた。また3回開催させていただいた異業種交流会では、現役会員が1つになり会員拡大における当事者意識の高揚に繋げる良い機会となった。また入会年度が若いメンバーが増えている現状を踏まえて資質向上セミナーを開催させていただいた。これからのまちづくり事業・青少年事業等で役に立つ内容だった。

最後に、会員拡大において1年間お願いばかりの委員会でしたが、皆様のご協力のお陰でなんとか会員拡大18名を達成できました。会員拡大は、現役会員全員の課題です。LOMメンバーが一丸となり会員拡大に取り組まなければ、郡山青年会議所に明るい未来がなくなる恐れがあります。会員開発委員会委員長を務めさせて頂き、切に感じ心よりお願いを申し上げます。一年間本当にありがとうございました。お世話になりました皆様へ感謝申し上げ報告と致します。

委員長 伊藤 和樹
副委員長 根本 太介
★委員会スローガン

TEAM WORK

～真の目的のために、想いをのせて～

★ 事業方針

郡山青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現にむけて青年会議所運動、活動を展開している。その運動に対する理解と共感をどれだけ市民から得られているだろうか。我々が展開する公益社団法人として情報の開示や事業を多くの市民に的確に発信し、運動の本質や意義を理解し共感をして頂き市民と共に運動を展開することが必要である。また、渉外担当委員会として各種広報活動や行政、関係諸団体との関係性をより深いものとする必要がある。

広報渉外委員会として情報の最大の発信源となる広報誌とホームページを充実させ、事業の魅力や事業への想いを発信する。そして各委員会との連携を強化しSNS等の特性をよく理解した上で効果的に活用し、市民へ対しリアルタイムに情報の発信を行う。さらにメンバーへ情報の共有を図ることで、事業の当事者意識を高めることで成功への一翼を担う。さらに本年度は郡山青年会議所創立以来継続事業となる「久米賞・百合子賞」の検証を行い新たな手法を用い応募総数を増やしこの事業の更なる発展に繋げる。また渉外担当委員会として行政、関係諸団体との連携を深めより強い情報の受発信を一括で行う。

委員会メンバー一人ひとりが郡山青年会議所の魅力の発信者であることを自覚し、広域的で的確な広報、渉外活動を行うことにより郡山青年会議所運動への理解を得ることができ、さらに郡山青年会議所運動への共感が広がる。そうすることで市民と共に運動を展開し、郡山青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」を実現することができる。

★ 事業計画 [開催予定月]

- | | | |
|----|--|----------------|
| 1 | 新入会員オリエンテーション並びに
現役会員向け会員開発セミナーの実施（委員会合同） | [2月] |
| 2 | 第56回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置 | [2月] |
| 3 | 久米正雄先生・宮本百合子先生勉強会並びに
ゆかりの地巡り | [6月] |
| 4 | 東北青年フォーラム引率 | [9月] |
| 5 | 広報誌発刊 | [1. 5. 8. 12月] |
| 6 | ホームページ作成・運営管理 | [通年] |
| 7 | メールアドレス・メーリングリストの管理 | [通年] |
| 8 | L O M事業の取材 | [通年] |
| 9 | 会員拡大に関する情報収集 | [通年] |
| 10 | 広報・渉外活動全般 | [通年] |
| 11 | その他理事長所信に基づき行う事業 | [通年] |

★ 事業報告

1 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施（委員会合同）
人間力開発セミナーでは伊藤清郷先輩からJCの魅力と可能性について学び、能力開発セミナーでは加瀬元三郎先輩からは人と人との関わり方の重要性について学ぶことができた。また、青春の居酒屋では初の試みとして、歴代ブロック会長と歴代運営専務をお招きし、ブロック会長輩出LOMとしての支援や過去のブロックのお話を聞くことができた。初めての委員会合同事業であり、全体的なタイムスケジュールの管理ができたことは良いところであったが、開催当日の資料の確認、青春の居酒屋での食事の準備など、事前準備や確認が十分でなく、当日の流れについて入念なシミュレーションをするべきであったが、新入会員や現役会員にとって、非常に有意義な事業とすることができた。

- 2 第56回「久米賞・百合子賞」実行委員会の設置

本年は小説が39点、詩が273点、総数312点と近年にはないほどの応募をいただいた。残念ながら百合子賞に該当する作品はなかったが、久米賞のから正賞が1作品選出いただいた。本年度の傾向として、学校生活や家庭生活の中での体験を通して成長する過程が描かれている作品が多く、中学3年生という多感な時期だからこそその作品となった。本年は「久米賞・百合子賞」を更なる文学賞とするべく「私たちの郷土・郡山の文学～久米正雄・宮本百合子の足跡～」という、当時の時代背景に触れ、文学の魅力や創作意欲を高めることを目的とした事業を展開した。また詩の応募が多かったことから、詩の模擬1次審査も現役会員で行うなど例年にはない挑戦もした。授賞式においては作詩家の齋藤貢先生をお招きし、「詩が生まれるところ」と題し、言葉の持つ力や表現力についてご講演をいただいた。しかしながら、事業を通して事前の準備不足や確認不足があった。しっかりと検証し次年度の「久米賞・百合子賞」のさらなる継承発展につなげていきたい。

3 久米正雄先生・宮本百合子先生勉強会並びにゆかりの地巡り

「私たちの郷土・郡山の文学～久米正雄・宮本百合子の足跡～」という、郡山市にゆかりのある作家、久米正雄・宮本百合子の史跡や郡山の歴史的建造物を巡り郡山市の郷土や文学を勉強する事業を中学生と一般の方々を対象に行った。事業の中では、伊藤和氏による「久米正雄・宮本百合子の足跡」と題する講演会、溝井審査員長による審査のポイント解説や、第54回久米賞受賞者の浅野ジノ君による受賞のその後などを午前の部とし、午後の部では福島住みます芸人のぺんぎんナッツと共に史跡巡りをして、面白く歴史を学ぶという設えを行った。参加者は少ないものではあったが、参加者や事業関係者からは、歴史や文学などの難しい内容ながらも、面白い事業であったと評価をいただいた。本事業においても中学生を対象にすることで、参加者を募ることの難しさを経験する事業となった。

4 東北青年フォーラム引率

東北青年フォーラム in 奥州へLOMメンバー全員から登録をいただいた。また登録を頂いてより多くのファンクションへ参加して頂いたメンバーの御協力により、東北青年フォーラムの引率を無事に出来た。「見果てぬ夢へ！～拡げよう無限の創造力～輝く東北をつくるのはオレたちだ！！」をスローガンのもと運営された本大会に参加し、岩手県奥州市水沢の「風土、伝統、文化、食」に触れることが出来、東北地区協議会メンバーの結束の強さと東北は一つという意思統一を感じることができた大会であった。各種セミナーやフォーラムに参加することでさらに気づき・学びを得ることが出来たが、その一つひとつの設えに主管LOMの想いを感じ取ることが出来る大会であったと思う。郡山青年会議所より東北地区協議会へ出向しているメンバーへの支援も、LOMメンバー全員の登録と、多くのメンバーの声援でしっかりと支援することが出来た。

5 広報誌発刊

理事長スローガン「継承と挑戦」に基づき「Challenge～新たなこおりやまへ～」と題して、年4回の広報誌を発刊した。誌面を見たときに読みやすく興味を引くよう意識し、文字を大きくし、行間も広く取ることができ、またトップページを特集記事や興味の湧くような内容とした。特集記事として5月号では「久米賞・百合子賞」8月号では「郡山商工会議所 滝田会頭 特別対談」といった郡山青年会議所をより身近に感じて頂ける内容の特集を組んだ。「久米賞・百合子賞」の特集記事を掲載し、歴史ある文学賞の紹介を掲載し、また作品の募集なども誌面において掲載することができた。また特別対談においては、ホームページに全文記事を掲載することによりホームページへの誘導を行った。あらゆる事業の活動報告もしっかりと掲載することができた。

6 ホームページ作成・運営管理

活動報告や事業の告知などがメインとなったホームページではあったが、事業告知などのFacebookを毎日更新することにより、ホームページのアクセス数も増えた。また事業の動画をホームページで公開したことにより、写真や記事だけでは伝えきれない内容まで広報することができた。また「郡山市長選挙に伴う公開討論会」においては、立候補予定者への質問をホームページで公募し多数の質問をいただくことができた。しかしながら、ホームページの更新をできるメンバーが極小数であったため、活動報告の記事を迅速に更新することができなかった。

7 メールアドレス・メーリングリストの管理

2017年度現役会員向けの各メーリングリストの作成や管理、事業ごとの申込フォームの作成を行った。メールアドレスの変更などがあつた際にも迅速に対応できた。また、ホームページからの問合せ等も迅速に対応することができた。

8 LOM事業の取材

広報渉外委員会として、LOMの事業は全て参加した。またブロックの事業や有志による事業、オブザーブ等も全てを写真に記録として残すことができた。担当委員会とも事前に打合せを行うことで写真撮影のタイミングや肖像権を意識した撮影など、様々な角度や状況などを記録できた。また記事の内容も、委員会の想いに重

点をおき記事を作成することができた。

9 会員拡大に関する情報収集

広報誌では会員募集要項を掲載し、ホームページでも会員募集を呼びかけることで入会の問い合わせを受け付ける事ができた。また広報誌、ホームページ両方で会員拡大に繋がる取り組みをした。

10 広報・渉外活動全般

ホームページや Facebook において事業の告知をし、一般市民へ事業に興味を持っていただけるよう取り組んだ。事業までのカウントダウンを Facebook、Twitter で行ったことでホームページへのアクセス数も増やすことができた。渉外活動としては、各メディアや、官公庁への新年の挨拶周りを行った。名義後援等の取りまとめは行わず、各委員会に任せることとなった。

11 その他理事長所信に基づき行う事業

その他理事長所信に基づき行う事業として「郡山市長選挙に伴う公開討論会」を広報渉外委員会で開催した。今回の公開討論会を開催するにあたり準備期間が限られたものではあったが、準備段階から当日まで多くの皆様にご協力いただき準備を進めることが出来た。今回はマニフェスト型公開討論会での討論会となり、シナリオの作成や質問事項の取りまとめなどいろいろな事を学ぶことが出来た。また主催者・共催者間の情報共有の仕方な様々な学びがあった。立候補予定者への質問をホームページで行い、多数の質問をいただくことができた。また福島ブロック協議会と共催することで連携を深めることができた。準備期間のない中で参加者を募ることの難しさを経験する事業となった。

最後に、「TEAM WORK～真の目的のために、想いをのせて～」のスローガンのもと一年間を終えることができた。「久米賞・百合子賞」の発展、子どもたちの成長につなげ、このまちのさらなる発展につなげることができたと実感している。多くの関係者を巻き込んだ本年の事業であったが、皆様からは多大なるご支援ご協力いただき心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

2017年度 まちづくり委員会

委員長 佐藤 拓也

副委員長 大谷 拓明

★委員会スローガン

NO.1

～更なる音楽都市へ、羽ばたこう、こおりやまの未来へ～

★事業方針

音楽は人をリズムで楽しませ、美しい歌声や音色は人を感動させ、音楽に乗せた言葉は喜びや悲しみを伝え、人のところに訴え、年齢、人種、国の垣根を越えて人と人を繋ぐ力を持っている。我が郡山は、音楽によるまちづくりを目指し、2008年3月24日、「音楽都市」を宣言した。その後、各分野での音楽活動が積極的に進められ著名な団体の公演や世界的なアーティストによる音楽会も開催されている。音楽こそ郡山の最大の魅力である。更なる音楽でのまちづくりを進めるためには、こおりやまの先人が培ってきた開拓者の精神を持ち、新しい音楽都市のあるべき姿を模索し、より一層魅力あるまちを追求しなければならない。

そのため我々は、郡山が持つ音楽の力を活かし、年齢や性別、世代や嗜好を越えた音楽による事業を行い、人と人との交流を深め、郡山を全国的にさらに世界的に発信し「楽都郡山」の認知度を高めると共に市民が「楽都郡山」の一員である意識を高める。

郡山の音楽が人と人を繋げ、異なる文化が交流し、それにより新しい文化、風土が生まれる。市民や郡山を訪れる人が喜び楽しみを共有し、笑顔あふれる人が集う魅力NO.1のまちを創造する。

★事業計画 [開催予定月]

1. 講演会企画運営 [5月]
2. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動 [6月・ 10月]
3. サマーコンファレンス引率 [7月]
4. 音楽交流事業 [9月]
5. 会員拡大に関する情報収集 [通 年]
6. その他理事長所信に基づき行う事業 [通 年]

★ 事業報告

1. 集え！NEXT GENERATION！～共に生み出す大きなチカラ～開催

各団体の活動や団体の構成メンバーの特色が発信されたことでそれぞれの理解が深められ、また交流会では新たなネットワーク作りにつながった。2017年まちづくり委員会としても、歌舞伎とジャズの伝統文化の融合を披露できたことで、メイン事業に向けてのイメージが共有でき、しっかりとした協力関係の第一歩が構築できた。また、文化を融合させることで新しい文化を創るという更なる音楽都市としての在り方を示せた。

2・2017年度サマーコンファレンス参加引率

本年度は「日本を変えるのはオレたちだ！」をテーマに揚げ各界から多くの有識者の方々お招きし各フォーラム・セミナーが開催された。メンバーひとりひとりに多くの学びがあり、郡山の更なる地域活性化に向けた気づきとなり行動意識を高めることが出来た。例年がないこととして、理事長がサマコンTVに出演し郡山青年会議所を広く発信できたことはLOMにとって今後の運動への活力となった。

3. 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加

郡山市民統一清掃行動を継承し江戸時代に選定された「郡山八景」を掃除する新たな取り組みをした。郡山の玄関口の一つでもある駅前周辺はゴミの量が多く、この運動の重要性を改めて感じる事ができた。また、歴史的場所は近所の方々などの管理によりゴミが少なく風物を大切にしている郷土愛を感じる事ができた。

4. こおりやまユニバーサルフェスティバル2017開催

多様性と国際色豊かな事業を展開することで新たな人と人、文化と文化の繋がりを創造し「ユニバーサルシティ」の実現に向けた歩みとなった。また、国際交流を一つの柱とした事業を行う事で、多様性が求められる国際人としての素養を醸成し、様々な団体と連携することで、今後の活動をより幅広く円滑に行える足がかりとすることができた。文化コラボレーション企画では郡山の最大の魅力である音楽の力を中心として、新たな文化の創造、オランダのホストタウンとしての意識の向上、新しい風土を作りあげることができた。そして郡山を中心に世界や日本の異なる文化が交流することで、笑顔が溢れる魅力NO.1のまちへと繋がった。

5. 会員拡大に関する情報収集

会員の減少・候補者状況について委員会で随時、情報共有を行った。また、当委員会が開催する事業では、多くの市民の方々に参加いただいたことで、郡山青年会議所の事業を発信できたことで会員拡大につながったと確信をしている。

6. その他理事長所信に基づき行なう事業

一般社団法人東白川青年会議所主催の米フェスティバルに参加し、郡山のご当地料理グリーンカレーを県南地区の多くの市民の方々に食べていただいたことで、広く郡山の食の魅力を感じていただけた。

最後に「NO.1 ～更なる音楽都市へ、羽ばたこう、こおりやまの未来へ～」のスローガンの通り委員会メンバー一丸となって、笑顔あふれる人が集う魅力NO.1のまちづくりを目指し、年度初めより最後までしっかりと走り抜けることができた。郡山の音楽が人と人をつなげることを「集え！NEXT GENERATION～ともに生み出す大きなチカラ～」で実現し、異なる文化が交流し、それにより新しい文化、風土が生まれることを「こおりやまユニバーサルフェスティバル2017」で実現することができた。本年度のまちづくり事業により、郡山が笑顔あふれる人が集う魅力NO.1のまちとなる第一歩を築くことができたと確信している。すべては委員会のメンバーの献身的な働きがあったの一年間であり、新しいことに取り組み郡山を盛り上げようとする私を常に支え続けてくれたメンバーには本当に感謝の想いだけである。またそんな新しい取り組みを実行するにあたり、郡山青年会議所のメンバーのお手伝いを全力でいただいたおかげで、本年度のまちづくり事業を大成功で終えることができた。ご支援ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。

2017年度青少年育成委員会

委員長 佐藤 尚弥

副委員長 松井 貴紀

★委員会スローガン

猪 突 邁 進

～ 全てはこおりやまの未来のために ～

★事業方針

近年子どもたちを取り巻く環境は急激に変化している。社会環境の変化は子どもたちが友人や家族と触れ合う機会を減少させ、人々の地域に対する無関心を増進させてきた。これらの変化は子どもたちのコミュニケーション能力の低下を招き、また社会性の乏しい子どもたちの増加につながっている。

そこで、青少年育成委員会では、子どもたちのコミュニケーション能力を活性化、青少年の社会性を増進させるために、考える力を養う事業を展開していく。また、子どもたちが人間関係を構築する力、心身の健全な育成を図れる事業を展開する。

これら青少年事業を通じ、夢や希望に向かって邁進する心を育み、子どもたちの興味を引き出し、無限にひろがる未来への可能性を見出す。そして人との繋がりを大切にする豊かな心を醸成し、また自ら考え行動し、新しい時代を主体的に切り開くことができる人財を育てることで「こおりやま」の明るい未来を創造する。

★事業計画

〔開催予定月〕

- | | |
|--------------------------------------|---------|
| 1. 京都会議の引率 | 〔1月〕 |
| 2. 「52回郡山市こどもまつり」への参画 | 〔5月〕 |
| 3. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック大会、全国大会への参加引率 | 〔5月～7月〕 |
| 4. 青少年育成事業の開催 自然体験事業 | 〔7月〕 |
| 5. 青少年育成事業の開催 社会体験事業 | 〔9月〕 |
| 6. 会員拡大に関する情報収集 | 〔通年〕 |
| 7. その他理事長所信に基づき行なう事業 | 〔通年〕 |

★ 事業報告

1. 京都会議の引率

本年度の第一歩として1月19日(木)から1月22日(日)までの4日間にわたり、京都の地において、京都会議を開催された。橋本裕理事長新体制の最初の重要な遠征事業であった。新年式典では青木照護会頭より「日本道」をテーマとした会頭所信を拝聴することで、「教育再生」と「経済再生」2本柱を軸に「日本道」を追い求めることが「世の中のためとなり、人のためとなり、それが自分のためになる」という力強い言葉が発信され、青年会議所メンバーの一員として直接に会頭と触れることができた。また新入会員には日本青年会議所運動を伝えること、そして(一社)奈良青年会議所とも新入会員同士の新たな友情を深めることができた。

2. 「52回郡山市子どもまつり」への参画

晴天に恵まれたたくさんの親子にご来場いただくことができた。昨年と同様に開成山野球場会議室にて設えを行ったが、予想以上に多くの子どもたちが参加したため、想定を上回るペースで「親子で触れ合い！お馬さんパカパカ」のレースを行うこととなり、順番待ちの親子さんの誘導や待機列を整えることが上手くできず、後手後手の対応となってしまった。また準備した景品の数が足りなくなりそうになったため、景品の数を押さえながらの設えになってしまったことには認識が甘かったと反省している。但し、ゲーム名のとおり、親子で触れ合う時間を共有してもらった点は大いに満足している。また郡山青年会議所の取組み状況を写真パネル、パズルにより掲示して事業のPRをすることもできた。

3. わんぱく相撲郡山場所の開催、福島ブロック大会、全国大会への参加引率

昨年の公益社団法人日本青年会議所第65回全国大会広島大会での事前説明会から始まった「わんぱく相撲」の事業をメンバーの皆様、そして郡山相撲協会様からのご協力を頂きながら、無事に開催することができた。郡山大会においては多くの参加者が集まり、郡山大会で上位に残った6名が、郡山の代表として福島ブロック大会への出場となった。6名全員が全国大会に出場とはならなかったがその内2名が勝ち残る結果となり、郡山から福島県代表として参加することができた。参加した子どもたちには、国技である相撲を通して、勝負の厳しさを知り、礼儀や思いやりのこころを養ってもらう機会をあたえることができ、健全育成に寄与することが出来たと思う。

4. スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～開催

例年、募集開始後間もなく定員に達して予約締切りになってしまう子どもたちに大人気のキャンプ事業が台風によって全面中止となってしまったことは、担当委員会として残念というほかない。台風が迫る中で、これまで委員会メンバーが一丸となって準備を進めてきた事業を中止するか否かは、委員長として大変難しい決断であった。しかし、子どもたちに最悪な状況が起こり得ることを考えると無理に強行することなく中止の決断をしたことは間違っていなかったと考える。今回子どもたちとは事前説明会のみでしか触れ合うことはできなかったが、初めて会った子どもたちが瞬時に仲良くなって

いく様を拝見して、大変驚くとともに嬉しさも感じた。これがあの時間だけで終わってしまったことは極めて残念である。今後は、中止せざるを得ない場合の別日の延期開催の可否について理事会や委員会でも議論していくことが重要だと考える。

5. 「第2回 こおりやま みらい☆シティ～チャレンジ！みんなで夢を描こう！！キッズJOBタウン～」の開催

第2回目の開催ということで、昨年同様多くの子どもたちから連日参加申込があり、その認知度の高さ、そして市民の皆様の期待を感じながら、改めて本事業が「地域に必要とされる事業」なのだと感じながら臨ませていただいた。

事業に関しては、職業体験を通じて子どもたちに働くことの楽しさ、そして将来の夢や希望を輝かせるとともに郡山の明るい未来の創造、次世代を担う子どもたちの人財の育成の一助になることができた。また出展いただいた団体様からも「他の地元の事業者・団体を知り、交流を図ることができた。」「地域の活性化に貢献することができた。」「子どもたちに働くことの楽しさや大切さを伝えることができた。」などのお話をいただき、本事業を通じて地域に青年会議所の運動・活動を広く発信し、知ってもらえることができた。また会場内では様々な職業体験から親子のコミュニケーションが図られ、家庭に戻ってからも活かせる内容であったと実感している。参加、協力いただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

6. 会員拡大に関する情報収集

多くの企業団体の方々と青少年育成の事業を通じて交流を図り、新入会員候補者の情報を収集し、積極的に会員拡大のため声掛けを行い、情報共有を図った。

7. その他理事長所信に基づき行なう事業

「水谷修チャリティー講演会並びにチャリティーコンサート」においては、東日本大震災復興福島支援として夜回り先生こと水谷修先生の講演、チャリティーコンサートでは泉谷しげるさん、さだまさしさん、宇崎竜童さんが参画した。この事業は東日本大震災及びその後の放射能に対する風評被害により、会社が倒産しあるいは撤退し、仕事を失った世帯や収入の減った世帯が数多く存在することでその世帯の子どもたちが高校進学を自ら辞退するといった家庭が数多く存在することに起因し、それを支援しようと考えたプロジェクトで、この講演会及びチャリティーコンサートの収益金約900万円は全て郡山市寄付された。来場者に対しても郡山青年会議所の協力のもと行い、広く青年会議所の活動に関心を持ってもらうことができた。

最後に「猪突邁進～全てはこおりやまの未来のために～」の青少年育成委員会スローガンのもとに、子どもたちに笑顔と希望の溢れるこおりやまの未来の実現のため、この1年間充実した青年会議所運動活動を展開することができた。3年目での委員長という重圧もあったが、経験豊富な委員会メンバーに支えられ、そして委員会メンバーみんなが積極的に参加し、行動してくれたおかげで突っ

走ってやることができました。本当に感謝しております。また事業を成功に終えることができたのはL
OMメンバーの皆様にご支援ご協力いただいたからこそだと思っております。本当に心から感謝致し
ます。

最後になりますがこのような貴重な機会を与えてくださった橋本裕理事長、そして佐藤怜専務に御
礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

公益社団法人郡山青年会議所 2017年度 各委員会月別報告書 No.1

	総務委員会	会員開発委員会
1月	11日 委員会の開催(第1回) 17日 新年会開催 18日 委員会の開催(第2回) 文書発送 31日 1月例会・定時総会開催	10日 委員会の開催(第1回) 18日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 28日 委員会の開催(第2回)
2月	8日 委員会の開催(第3回) 17日 委員会の開催(第4回) 文書発送 21日 2月例会開催	8日 委員会の開催(第3回) 15日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 17日 委員会の開催(第4回) 25日・26日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナーの実施(広報渉外委員会と合同)
3月	3日 委員会の開催(第5回) 17日 委員会の開催(第6回) 文書発送 23日 3月例会開催	8日 委員会の開催(第5回) 15日 PEP Kids Koriyama支援協力設営 24日 委員会の開催(第6回)
4月	4日 委員会の開催(第7回) 17日 委員会の開催(第8回) 文書発送 20日 4月例会・臨時総会開催	4日 委員会の開催(第7回) 21日 委員会の開催(第8回) 24日 チェリーパーティーの開催
5月	2日 委員会の開催(第9回) 16日 委員会の開催(第10回) 文書発送 25日 5月例会開催	2日 委員会の開催(第9回) 16日 委員会の開催(第10回)
6月	2日 委員会の開催(第11回) 16日 委員会の開催(第12回) 文書発送 22日 6月例会開催	6日 委員会の開催(第11回) 13日 OB元気会の開催(第1回) 23日 委員会の開催(第12回)
7月	2日 こおりやまJCオールスター感謝祭～星に願いを込めて～開催 5日 委員会の開催(第13回) 8日・9日 第47回福島ブロック大会参加引率 18日 委員会の開催(第14回) 文書発送 20日 7月例会開催	4日 委員会の開催(第13回) 18日 委員会の開催(第14回) 25日 第1回 異業種交流会開催
8月	2日 委員会の開催(第15回) 5日 奈良JCとの交流会及びうねめまつり踊り流し参加開催 22日 委員会の開催(第16回) 文書発送 24日 8月例会開催	1日 委員会の開催(第15回) 22日 委員会の開催(第16回)
9月	4日 委員会の開催(第17回) 15日 委員会の開催(第18回) 文書発送 25日 9月例会・定時総会開催	4日 委員会の開催(第17回) 7日 講演会並びに第2回 異業種交流会開催 20日 委員会の開催(第18回) 28日・29日・30日・10月1日 全国大会引率
10月	4日・5日 奈良公式訪問引率 10日 委員会の開催(第19回) 18日 委員会の開催(第20回) 文書発送 24日 10月例会開催	5日 委員会の開催(第19回) 11日 資質向上セミナー 開催 17日 OB元気会の開催(第2回) 18日 委員会の開催(第20回)
11月	6日 委員会の開催(第21回) 16日 委員会の開催(第22回) 文書発送 24日 11月例会開催	6日 委員会の開催(第21回) 21日 講演会並びに第3回異業種交流会開催 16日 委員会の開催(第22回)
12月	5日 委員会の開催(第23回) 9日 臨時総会・卒業式開催 19日 12月例会開催 20日 委員会の開催(第24回) 文書発送	7日 委員会の開催(第23回) 21日 委員会の開催(第24回)

公益社団法人郡山青年会議所 2017年度 各委員会月別報告書 No.2

	広報渉外委員会	まちづくり委員会
1月	10日 委員会の開催(第1回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌1月号の発刊	11日 委員会の開催(第01回) 18日 委員会の開催(第02回) 24日 委員会の開催(第03回)
2月	1日 委員会の開催(第2回) 8日 委員会の開催(第3回) 28日 委員会の開催(第4回) 24日・25日 新入会員オリエンテーション並びに現役会員向け会員開発セミナー(委員会合同) ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第04回) 17日 委員会の開催(第05回) 24日 委員会の開催(第06回)
3月	8日 委員会の開催(第5回) 24日 委員会の開催(第6回) ◎ホームページの企画・運営・管理	03日 委員会の開催(第07回) 08日 委員会の開催(第08回) 17日 委員会の開催(第09回) 29日 委員会の開催(第10回)
4月	3日 委員会の開催(第7回) 5日 郡山市長選挙に伴う公開討論会開催 19日 PEP Kids Koriyama支援協力 21日 会員開発・広報渉外合同委員会 26日 「第56回久米賞・百合子賞」第1回実行委員会 26日 委員会の開催(第8回) ◎ホームページの企画・運営・管理	04日 委員会の開催(第11回) 10日 委員会の開催(第12回) 18日 委員会の開催(第13回) 26日 委員会の開催(第14回)
5月	8日 委員会の開催(第9回) 17日 PEP Kids Koriyama支援協力 19日 委員会の開催(第10回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌5月号発刊	01日 委員会の開催(第15回) 09日 委員会の開催(第16回) 18日 委員会の開催(第17回) 22日 委員会の開催(第18回) 23日 委員会の開催(第19回) 24日 集え!NEXT GENERATION!〜共に生み出す大きなチカラ〜開催
6月	2日 委員会の開催(第11回) 5日 第56回「久米賞・百合子賞」審査員顔合せ会の開催 16日 委員会の開催(第12回) 21日 PEP Kids Koriyama支援協力 ◎ホームページの企画・運営・管理	02日 委員会の開催(第20回) 04日 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加 20日 委員会の開催(第21回)
7月	6日 委員会の開催(第13回) 12日 委員会の開催(第14回) 15日 私たちの郷土・郡山の文学〜久米正雄・宮本百合子の足跡〜開催 ◎ホームページの企画・運営・管理	10日 委員会の開催(第22回) 18日 委員会の開催(第23回) 21日・22日・23日 2017年度サマーコンファレンス参加引率 28日 委員会の開催(第24回) 31日 委員会の開催(第25回)
8月	7日 委員会の開催(第15回) 22日 委員会の開催(第16回) 31日 委員会の開催(第17回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌8月号発刊	09日 委員会の開催(第26回) 14日 委員会の開催(第27回) 24日 委員会の開催(第28回)
9月	1日・2日・3日 東北青年フォーラム引率 5日 委員会の開催(第18回) 6日 第56回「久米賞・百合子賞」審査勉強会開催 27日 委員会の開催(第19回) ◎ホームページの企画・運営・管理	05日 委員会の開催(第29回) 12日 委員会の開催(第30回) 14日 委員会の開催(第31回) 15日 委員会の開催(第32回) 18日 こおりやまユニバーサルフェスティバル2017開催 22日 委員会の開催(第33回)
10月	18日 委員会の開催(第20回) 20日 第56回「久米賞・百合子賞」最終審査会 31日 第56回「久米賞・百合子賞」第2回実行委員会 31日 委員会の開催(第21回) ◎ホームページの企画・運営・管理	10日 委員会の開催(第34回) 18日 委員会の開催(第35回)
11月	2日 第56回「久米賞・百合子賞」記者発表 16日 委員会の開催(第22回) 18日 第56回「久米賞・百合子賞」授賞式並びに記念講演会 ◎ホームページの企画・運営・管理	06日 委員会の開催(第36回) 15日 市民総ぐるみクリーンこおりやま運動への参加 17日 委員会の開催(第37回)
12月	12日 第56回「久米賞・百合子賞」第3回実行委員会 12日 委員会の開催(第23回) 23日 委員会の開催(第24回) ◎ホームページの企画・運営・管理 ◎広報誌12月号発刊	06日 委員会の開催(第38回)

公益社団法人郡山青年会議所 2017年度 各委員会月別報告書 No.3

青少年育成委員会	
1月	11日 委員会の開催（第1回） 19日 委員会の開催（第2回） 20日～22日 京都会議引率 26日 委員会の開催（第3回）
2月	10日 委員会の開催（第4回） 20日 委員会の開催（第5回）
3月	03日 委員会の開催（第6回） 10日 水谷修チャリティー講演会並びにチャリティーコンサート 17日 委員会の開催（第7回）
4月	04日 委員会の開催（第8回） 10日 委員会の開催（第9回） 17日 委員会の開催（第10回） 25日 委員会の開催（第11回）
5月	01日 委員会の開催（第12回） 05日 第52回郡山市こどもまつり 17日 委員会の開催（第13回）
6月	02日 委員会の開催（第14回） 04日 第20回わんぱく相撲こおりやま場所 09日 委員会の開催（第15回） 18日 第20回わんぱく相撲福島ブロック場所 19日 委員会の開催（第16回）
7月	06日 委員会の開催（第17回） 16日 スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～事前説明会 18日 委員会の開催（第18回） 27日 委員会の開催（第19回） 29日～30日 わんぱく相撲全国大会
8月	08日～09日（台風の為中止） スマイルサマーキャンプ～One for all, all for one～ 21日 委員会の開催（第20回） 31日 委員会の開催（第21回）
9月	08日 委員会の開催（第22回） 12日 委員会の開催（第23回） 15日 委員会の開催（第24回） 20日 委員会の開催（第25回） 22日 委員会の開催（第26回） 23日～24日 第2回こおりやまみらい☆シティ
10月	10日 委員会の開催（第27回） 18日 委員会の開催（第28回）
11月	06日 委員会の開催（第29回） 21日 委員会の開催（第30回）
12月	04日 委員会の開催（第31回） 17日 委員会の開催（第32回）